



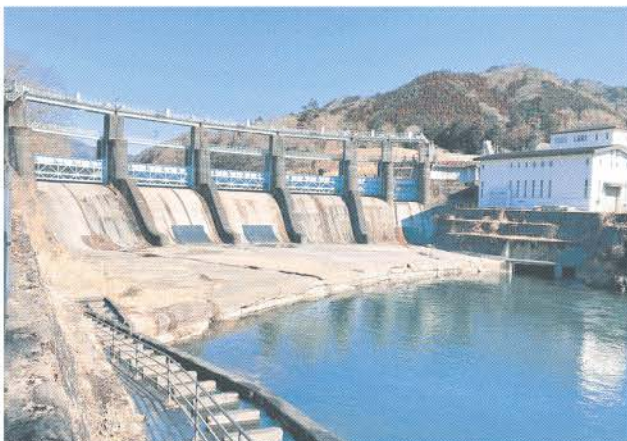
281

小学校高学年向け 年組

中岩ダム「土木遺産」に

【日光】現存する歴史的な土木建造物の顕彰に取り組む公益社団法人土木学会は24日、東京電力リニューアブルパワーが管理する高徳の中岩ダムを本年度の選奨土木遺産に認定したと発表した。大正期に建設された曲線型重力式ダムの早期の事例で、美しい曲線の意匠などが評価された。本県関係の認定は21件目。
(穴原功郎)

日光 本県21件目、学会選奨



土木学会選奨土木遺産に認定された「中岩ダム」(東京電力リニューアブルパワー提供)

大正期に建設、曲線評価

中岩ダムは堤高26・26
堤頂長107・87
堤体積1万1503立方
洪水吐ゲート6門のアーチ型をした曲線重力式コンクリートダム。1924
(大正13)年に鬼怒川水力
電気が建設した。
建設時のセメント不足などの影響で施工品質が良くなかったことから、浸透水が多かったという。さらにはダム背面の勾配が急だったため張石の落下なども多

く、67～69年にかけて改修工事が行われた。これにより洪水吐ゲートを10門から6門に減らすとともに、表面のコンクリートを打ち直し、背面勾配を緩やかにする改修が行われた。
中岩ダムは上流に位置する同社下滝発電所の黒部ダム(13年完成、201

8年に選奨土木遺産認定)などと合わせ、東京の消費電力増大に対応した。建設時には資機材を下野軌道(現東武鬼怒川線)で今市から輸送するなど、周辺のインフラ整備とも関連している。
土木学会関東支部選奨土木遺産選考委員の三浦魁斗(30)は「二元々の機能を継承し、同じロケーションにあることは歴史や文化を伝える上で大切。日光と首都圏のつながりを、知ってもらうきっかけにもなればいいですね」と話している。

2025年9月25日付
下野新聞

設問

【1】中岩ダムは、いつ、どの会社によって建設されましたか。

(いつ：)
(会社：)

【2】次のうち、ダムの役割として正しくないものを一つ選びなさい。

- い。
- A. 川の水をためて、生活や農業に使う水を確保する。
 - B. 大雨のときに水を調節して、下流の洪水を防ぐ。
 - C. 川の水をきれいにして、安全な水道水をつくる。
 - D. 水の力を利用して、電気をつくる。

【4】中岩ダムが、土木遺産に選ばれた理由は何でしょうか。記事を読んで、次の文章の空欄に当てはまる言葉を書き入れましょう。

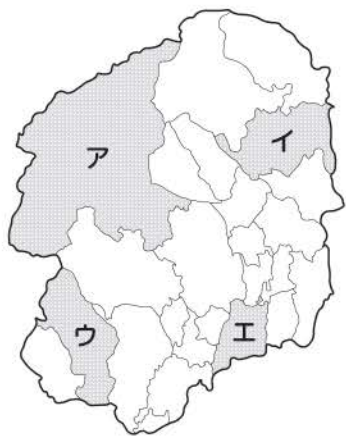
(ア) に建設された曲線型重力式ダムの (イ) の事例で、美しい (ウ) の意匠などが評価されたため。

(ア：)
(イ：)
(ウ：)

※「意匠」とは、デザインのこと。

【5】中岩ダムは、「東京の消費電力の増大」に対応するために建設されました。では、中岩ダムが建設されたところの日本社会は、なぜ電気の消費が増えたのでしょうか。次のうち、正しくないものを一つ選びましょう。

- A. 工場の機械が増え、電気をたくさん使うようになった。
- B. 都市の人口が増え、家庭でも電灯や電気製品が広く使われるようになった。
- C. 町や道路を明るくし、生活が便利になることで電気の使用量が増えた。
- D. 農村でも工場のように大量の電力が必要になり、全国的に消費電力が増えた。



【3】中岩ダムがある日光市は、地図のA～Eの市町のどれでしょうか。